令和２年度　岩内第一中学校　教職員自己評価および学校関係者評価書

◎今年度の重点目標

「自分の将来を描き、主体的に発信できる生徒の育成」

（1）「自ら学ぶ姿勢を育てる」～主体的な学習習慣の定着
（2）「自信が持てる心を育てる」～自己肯定感の高揚
（3）「自らの判断で活動できる力を育てる」～自己決定力の育成
（4）「職員の心身の安定を図る組織をつくる」～個の力が活かされる組織力
（5）「地域連携が図られる環境をつくる」～小中、中中連携の強化

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題	学校関係者評価 自己評価の適切さ	学校関係者評価 成果と課題の適切さ
自ら進んで取り組む家庭学習の習慣化について	私は生徒の学習用具持ち帰りの指導・徹底に努めた。	3.4	お子様は、家庭学習の取組を考えながら、家庭に持ち帰る学習用具を決めている。	3.0	学習用具は、家庭学習の取組を考えながら、学校に置いて帰る物と持ち帰る用具を決めている。	3.6	・学習用具の持ち帰り（カバン重量負担軽減）については、一昨年度から継続し、粘り強く指導に取り組んだ結果が成果として表れたと言える。 ・学習のつまずきから、意欲の低下を示す生徒も存在する。改めて、基礎基本の学力定着に力を注ぎ、授業以外でも主体的に学習に取組む子供たちを育てていきたい。3学期以降、部活動休養日を中心に放課後の個別学習（タブレットPCの活用、E-ラーニングシステムの活用等）を行い、課題の改善に向けて取り組んでいる。 ・学力に差がみられ、一律の課題では家庭学習に取組みづらい現状を踏まえ、課題の出し方等に工夫を加えたり、教科担任や学級担任のみにその指導を委ねることのない、全教職員で課題解決に向かう組織体制を確立し改善に努めたい。	A	A
	私は、生徒自身の学習課題を明確にし、自ら学習に向かう姿勢づくりに努めた。	4.3	お子様は、学習課題（教科別の得意・不得意、単元毎の内容の違い等）を理解しながら学習に取り組もうとしている。	2.6	わからないことは、そのままにせず、わかるまで努力しながら学習に取り組むようにしている。	3.0		B	A
	私は、生徒の日々の家庭学習（宿題や塾での取り組みで終わらせない学習方法）の指導に努めた。	3.4	お子様は、家庭学習の習慣が身についている。	2.6	日々の家庭学習には計画的に取り組んでいる。	2.2		B	A
自分自身と向き合う自己理解	私は、自己評価・他者評価などを通し、自己を振り返る学年・学級経営計画の立案に努めた。	3.3	学校は、保護者や地域の意見を聴き、その期待に応えようとしている。	3.3			・生徒の自己判断・自己決定の場を数多く設定し、生徒の成長をより一層促したい。また、その判断・決定の評価を適切に行いながら、自己肯定感の向上につなげていきたい。 ・学習や生活の決まりに関して、教職員間の段差のない指導が行えていると判断できる。今後も報告・連絡・相談を密にしながら適切な指導に努めたい。 ・いじめ問題については、校内のいじめ対策委員会を組織の中心に置きながら、継続していじめの未然防止・撲滅に努めていきたい。また、年度末に向けていじめ対応のマニュアル、いじめ防止基本方針を見直し、体制の強化に努めたい。	A	A
	私は、授業や行事など、日常生活に直結した指導計画の立案に努めた。	3.8	日常の授業や学校行事を通して、お子様の成長を感じることができる。	3.5	学校生活を通して、自分やクラスの成長が感じられる。	3.5		A	A
	私は、指導内容(価値項目)を押さえた道徳授業を行った。	3.9	学校生活を通してお子様の道徳性の向上を感じる。	3.3	道徳の授業を通して、自分の心が成長していると感じる。	3.3		A	A
	私は、生徒の成功体験の機会設定を行うことによる自己理解を深めさせる指導に努めた。	4.0	お子様は、自分に自信が持てる心が備わってきている。	2.8	自分には良いところがあると思う。	3.1		A	A
達成感を実感できる学校生活	私は、校内外における「一中生挨拶」の指導・強化に努めた。	4.2	お子様は、進んで挨拶をしている。	3.8	積極的にあいさつをしている。	4.3	・挨拶については前期に引き続き高い評価だった。今後も、生徒間や校外での挨拶をより一層できるような指導を続けていきたい。・校内組織体制の整備が進み、一定の成果が見えている。今後は、部会運営の改善を目標に、各個人が見通しを持った業務遂行に努めたい。 ・ＰＤＣＡサイクルが常となり、一定の成果が見える。今後は、次年度につながる主体的な改善策提示という次のステップに踏み出すことで更なる改善を図りたい。 ・小中連携については指定事業の活用から、大きな成果が見える。今後は、事業の活用にとどまらない、学校全体の取組や町内各校との連携連携を図りながらより一層の体制強化に努めたい。	A	A
	私は、実践に導く生徒の自己判断・自己決定の機会設定に努めた。	3.9	お子様は、自分で考え、物事を判断している。	3.4	物事を決めるときは、自分の考えで判断している。	3.6		A	A
	私は、学年・教科・部活等の指導体制の連携強化に努めた。	3.8	学校は、先生方の連携が取れた段差のない指導をしている。	3.2	先生方は、学習や生活の決まりなどについて、みな同じようなことを言ってくれるのでわかりやすい。	4.0		A	A
	私は、いじめを発生させない未然防止の取組に努めた。	4.1	お子様は、いじめは絶対に許さないという考えで生活している。	4.2	いじめは絶対に許さないという考えで、思いやりの気持ちを大切にしながら毎日を過ごした。	4.4		A	A
	コロナによる感染症対策をはじめ、生徒が安心して毎日を過ごせる日常づくりに努めた。	3.9	（学校の感染症対策について）学校に安心してお子様を通わせることができる。	3.7	（学校の感染症対策について）学校は安心して通うことができる。	3.8		A	A
教職員の心身の充実	私は、組織としての各種業務運営を確立させることによる個人負担の軽減に努めた。	2.9					・個人がそれぞれの係業務に責任を持ち、見通しを持った効率的な協議を行うことで組織全体の負担軽減を図りたい。 ・既存の取組を重視するあまり、業務削減、効率化等が進まない現状がある。職員個々のキャリアを尊重しつつも、前年度踏襲・慣例・前例重視から脱却し、様々なアイディアや先進地の取組等の情報を共有しながら改善に努めたい。 ・ＰＤＣＡサイクルを確立させ、更なる改善を図りたい。 ・小中連携については指定事業の活用から、大きな成果が見える。特に、11月に行われた公開研究会では岩内町全体の職員間の連携により次年度以降への成果を残すことができた。今後は、学校単位の枠組みにとらわれない全町内的な視点で連携を図りながらより一層の体制強化に努めたい。	A	A
	私は、各種業務のPDCAサイクルの徹底に努めた。	3.2						A	A
	私は、小中、中中の連携による体制強化に努めた。	3.5						A	A
働き方改革につなげる地域連携	私は、各種事業の教育課程への位置づけについて意識し、その指導に努めた。	3.7	学校の各種取組は、その目的や関連性が理解しやすい。	3.3	学校の取組は、目的やつながりがわかりやすい。	3.6	・カリキュラムマネジメントの3つの柱を重視しながら、相互の関連性やそのねらいに応じた適切な教育課程の編成についての検討・改善に努めたい。 ・部活動については、ガイドラインに則り、休養日の設定等、適切に取り組むことができた。 ・１学期末にコミュニティ・スクールの活動が実際のものとなり、大きな成果が確認できた。今後は働き方改革の視点と社会に開かれた学校の二つの視点から、教職員一同が自分事としてＣＳをどのように活用していくべきかを深く考え、知恵を出し合い、改善を図っていきたい。	A	A
	私は、町教委の「部活動指導のガイドライン」に準じた部活指導に努めた。	4.3						A	A
	私は、学校運営協議会(CS)の充実と地域人材の更なる活用に努めた。	2.4	学校は、学校運営協議会を活用するなど、地域人材の活用に努めている。	3.3	地域の方をはじめとする外部の方々と接する機会がある。	2.9		A	A

◎　学校評価とは

学校は、教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければなりません（学校教育法第４２条）。

これにより、次の１～３の規定に則り、本校でも学校評価を行いました。以下、学校評価についての説明・補足を記しますので本評価書と併せてごらんください

１.教職員による自己評価の実施

（１）前期、後期の２回に分け教職員自己評価（以下・自己評価）を実施しました。また、関連項目を全校生徒と保護者の皆様に

も同様に実施しました。

２.保護者などの学校の関係者による評価（「学校関係者評価」）を行うとともにその結果を公表するよう努めること。

（１）岩内町では、「学校関係者評価」を学校運営協議会委員の皆様に行っていただくことになっています。

（２）学校関係者評価は令和３年２月１７日（水）第３回学校運営協議会において実施しました。

（３）学校関係者評価では具体的に

①　自己評価の結果の内容が適切かどうか～評価書「自己評価の適切さ」

②　自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか～評価書「成果と課題の適切さ」

③　学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか

④　学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか　　などを評価しました。

（４）結果の公表については

①自己評価及び学校関係者評価書を教育委員会に提出しました。

②自己評価及び学校関係者評価書を学校ホームページに掲載しました。

③自己評価及び学校関係者評価書を保護者の皆様へ配布しました。

以上